

平成29年度碁石海岸キャンプ場開設式

アウトドアと絶景を満喫

7月7日、末崎町字大浜地内の碁石海岸キャンプ場でキャンプ場開設式が行われました。

施設は宿泊、日帰りできるオートサイト16サイト・テント20張り分のフリーサイトがあり、温水シャワーと多目的トイレを完備。また、バーベキュー用の食材(肉・魚介類など)の販売や道具(鉄板など)の貸し出しをしており、手ぶらでアウトドアが楽しめます。開設期間は10月31日まで。



大船渡ポートサイドマラソン大会

夏の大船渡を駆け抜ける

7月16日、市民体育館前を発着点とする「佐々木七恵氏顕彰第28回大船渡ポートサイドマラソン大会」を開催しました。

この日は気温30℃を超える真夏日となり、コース上には、給水所やミストシャワーなどの熱中症対策が施されました。市内外から参加した約700人の選手たちは、暑さに負けず、ゴールを目指して一生懸命に走っていました。



(7) 広報大船渡 29.8.7(No.1108)

大船渡市さんま焼き師認定試験

広がるさんま焼き伝道師



7月15・16日、大船渡市魚市場でさんま焼き師認定試験が行われました。

今回は市内外から113人が受験。実技講習では、炭おこしから焼き上がりまでの指導を受け、悪戦苦闘しながらも自分で焼き上げたさんまに満足の様子でした。認定試験は、市観光物産協会がさんま焼き師の育成を図るため昨年度に制度化。さんま焼き師は大船渡から全国へと広がっています。

復興・大船渡全国ちんどんまつり

笑いで被災地を勇気づけ



7月16日、リアスホールで、「復興・大船渡全国ちんどんまつり」が行われ、会場は笑い声で包まれました。

今回で5回目を数えるちんどんまつりには、全国のプロ、アマチュア20団体が集結。独創的でユーモア溢れる衣装を身にまとった出演者が、鐘や太鼓などで奏でる演奏を披露し、来場者を勇気づけました。

トピックス 1

大船渡市地域おこし協力隊隊員委嘱状交付式

7月3日、市役所で、地域おこし協力隊隊員の委嘱状交付式を行い、3人目の隊員となる東京都練馬区出身の小林耕平さんに委嘱状が交付されました。

地域おこし協力隊隊員は、人口減少や高齢化が進むなか、市外の人材を積極的に活用し、地域の課題解決・活性化を図るために委嘱しているものです。

今後は、平成28年度に委嘱した2人の隊員とともに、盛町のふるさとテレワークセンターを拠点に、市のPRや情報発信、ICTを利活用した農業などに取り組んでいきます。



①戸田市長から委嘱状を受け取る小林耕平さん②地域おこし協力隊の活動の様子(農園で栽培したジャガイモの収穫)



トピックス 2

平成29年度気仙地区植樹祭開催

7月6日、三陸町吉浜字上野地内の市有林で、気仙地方林業振興協議会と大船渡市が主催する植樹祭を行いました。

気仙地方森林組合職員から植樹指導を受けた約100人の参加者が、1,400本のケヤキとブナの苗木を植樹しました。植樹したケヤキの苗木は岩手県企業局から提供を受けました。

本市では、恵まれた自然を守り、後世に引き継いでいくために「豊かな海を育む大きな森づくり事業」を開催し、関係機関と一体となり植樹活動を実施しています。



①関係者で建立した記念標柱②NPO法人「資源を増やす木を植えましょう」グレート小鹿理事長からブナの苗木が贈呈

トピックス 3

対国要望活動

7月20日・21日、戸田市長と熊谷市議会議員が中央省庁などを訪れ、市政課題解決に向けた要望活動を行いました。

本年度は、復興庁に「被災(移転)跡地の利活用に係る予算枠の確保」や、文部科学省に「国際リニアコライダー(ILC)の北上山地への誘致実現」、農林水産省に「永続的で適切な水産資源の確保」など、合計12項目を要望しました。

要望活動を行った各省庁では、担当大臣などから要望内容に対する国の考えを聞いたところです。



①吉野復興大臣に要望書を手渡しました②文部科学省では、田野瀬文部科学大臣政務官に要望しました